



発行所  
滋 臨 技 師 会

事務局  
滋賀医科大学医学部  
附属病院 検査部  
大津市瀬田月輪町

発行責任者  
瀬 田 正 憲



大津赤十字病院

◇目 次◇

平成21年度第1回定期総会報告 .....	2
第1回滋賀県微生物検査・チーム医療分野合同研修会を開催して .....	3
第1回滋賀県微生物検査・チーム医療分野合同研修会に参加して .....	4
平成21年5月定例理事会議事録 .....	5
平成21年6月定例理事会議事録 .....	6
会員の動向・施設代表者の変更・訂正とお詫び .....	7
臨床検査技師会・放射線技師会ジョイント企画 .....	8・9・10
学術論文の募集について .....	11
施設紹介（大津赤十字病院） .....	12・13
研修会案内 .....	14・16

## 平成21年度第1回定期総会開催される

平成21年度第1回定期総会（決算）が、平成21年5月30日（土）午後2時から草津市立まちづくりセンター会議室で開催された。

総会は速水猛理事の司会により開会され、議長選出の方法について出席会員から執行部一任の発言があり、議長には第2地区より奥井幸三氏（公立甲賀病院）、第1地区より池田俊彦氏（国立病院機構滋賀病院）が選任された。

議長挨拶につづき資格審査委員兼議事運営委員5名、書記2名、議事録署名人2名が任命された。

会長挨拶のあと、議事に先立ち、宮下利郎 資格審査委員長より、議長に対し資格審査状況が届けられた。議長は本総会の出席者数について、本総会出席者数31名、委任状出席者数380名で合計411名、現在会員数513名であり、議長は、定款24条および第26条により本総会の成立を宣言し、議事審議に入った。

第1号議案の平成20年度事業について吉田孝 副会長、入野保 副会長から報告があった。

第2号議案の平成20年度決算について大本和由 会計部長から報告があった。

第3号議案の平成20年度監査報告が立脇憲一 監事から適正である旨の報告があった。

議長は、1号議案、2号議案、3号議案について出席者に質疑を求めたが、特に質問がなかったため、拍手による承認を求めた。その結果、出席者の圧倒的多数の賛成を得たため、承認を宣言した。

第4号議案の平成21・22年度の監事選出については瀬田正憲会長より立脇憲一監事の任期満了に伴い、平成21・22年度の後任監事を立脇 憲一氏（自宅会員）を再任し、委嘱したい旨の提案がされた。

議長は、立脇 憲一氏に対する承認を拍手によって行った。その結果、出席者の圧倒的多数の賛成を得たため、承認を宣言した。

第5号議案のその他において

①瀬田正憲 会長より平成22年2月28日（日）の第32回滋賀県医学検査学会終了後に引き続き創立55周年・法人化25周年記念式典を実施する旨の報告がされた。

②瀬田正憲 会長より技師会会議室の利用拡大を図りたい旨の報告がされた。

③入野保 副会長より社団法人滋賀県臨床検査技師会の学術雑誌発刊のために準備を進めている旨の報告がされた。

④吉田孝 副会長より社団法人日本臨床衛生検査技師会の臨床検査データ共有化事業の現状について報告がされた。

議長は、その他の件について質疑を出席者に求めたが、特に質問がなかった

最後に総会役員の解任と議長退任挨拶があり、午後3時に閉会の辞をもって総会日程を終了した。



## 第1回滋賀県微生物検査・チーム医療分野合同研修会を開催して

微生物検査分野長

滋賀医科大学医学部附属病院検査部 清水 馨

院内感染防止対策は微生物検査に携わっている技師だけでなく、検査データを提供するすべての技師さらには病院などの医療機関に勤務するすべての方々が、感染防止の正しい知識と意思を持って行われるものであります。そして、その業務はますます重要となってきております。そこで、2回のシリーズで研修会を企画いたしました。

開催直前に新型インフルエンザ患者が大阪、神戸、滋賀と発生しこの研修会の開催も危ぶまれましたが、今まさに必要な内容と考え、マスク着用と手指消毒

にて対処し開催することに決めました。しかし、それも沈静化に向かい当日にはマスクの着用もせずすみません。ご参加くださいました皆様と関係各位にお礼を申し上げます。



## 医療関連感染防止のためのICT活動

滋賀医科大学医学部附属病院 感染制御部感染管理認定看護師 竹村 美和



このたびは、貴重な機会を与えていただき、本当にありがとうございました。

感染管理は、患者を取り巻く全ての職種がそれぞれの立場から協力しあいながらチームで進めていくことが大切です。検査技師さんがICTの中で担われている役割は施設によっても異なると思いますが、私たち感染管理担当者にとって、検査技師さんは心強い味方です。その協力なしには感染対策を速やかに、適切に

進めていくことはできません。ICTは、細菌検査に関する情報をいち早くキャッチし、全体を見渡して、院内で起こっている問題を感じ取る必要があります。ICTの中で、検査技師さんは最も早く検査結果を知り、また全体的にみることができ、どの部署でどんな細菌がどれくらい検出されているかを把握できる位置にあります。検査技師さんが細菌検査に関するデータをいつ、どのように感染管理担当者やICTに伝えてくださるかは、アウトブレイクの早期発見や感染拡大防止にも影響します。私だけでなく、県内のどこの施設でも、ICTは検査技師さんを頼りにしています。

これからもよい関係を築きながら、院内の、そして滋賀の感染対策の推進のために共に協力しあっていけたらと思います。

## 第1回滋賀県微生物検査・チーム医療分野合同研修会に参加して

済生会滋賀県病院 長谷川 健二



平成21年5月30日（土曜日）午後3時20分より草津市立まちづくりセンターにおいて『CLSIM100-S19の主な追加及び変更点に関して』講師 栄研化学株式会社 田村 俊氏と『医療関連感染防止のためのICT活動』講師 滋賀医科大学附属病院 感染制御部 感染管理看護師 竹村美和先生の研修会に参加をさせていただきました。

CLSIについては、今回大きな変更はなかった。次に、竹村先生のICT活動に

ついては、特に注目したことは、検査技師（検査室）の参加メリットとして挙げられた以下の6点だった

- 1 検査結果が検査室に集約している
- 2 検査技師に細菌学知識がある
- 3 検査手技、検査の意味合い、結果の解釈ができる
- 4 検査結果を最初に知ることができる
- 5 検査の採取法、保存法、搬送法などを伝えることができる
- 6 患者個人の検査結果だけでなく、病棟全体を見渡すことができる

これはICT活動には、細菌検査室の必要性が示されていると考えられます。細菌検査室は検査部門のなかでも採算性が悪く、詳細な検査をすればするほど得られる情報は多いが費用も増加していく、当病院も数年前まで、細菌検査は外注であったが、新病院完成と電子カルテ化に伴い一部院内実施を行っています。また昨年からはICT活動に参加させてもらっています。今回の研修会内容でICT活動には細菌検査室が必要なことを実感しました。まだまだ知識的には、未熟なところがありますが今後のICT活動に役立てていきたいと考えています。



# 平成21年5月定例理事会 議事録

日時：平成21年5月7日（木）17:00～19:00

場所：技師会 会議室

出席者：瀬田、吉田孝、入野、竹島、山本、一岡  
速水、横山、新川、大本、吉田忠夫  
岩井（監事：阪口、立脇）

欠席者：岡本、桐畑、内木、松村

司会：入野 副会長

## 1) 会長挨拶

## 2) 報告事項

### 「日臨技」

#### 1. 日臨技定期総会

日時：平成21年4月25日（土）

場所：大森東急イン

内容：平成20年度事業、決算報告

滋賀県臨床検査技師会定期総会委任状

：414枚 出席者：1名

当会より大槻隆明氏（滋賀医科大学医学部附属病院）代表出席。

### 「近臨技」

#### 1. 近畿医療フォーラム（近臨技渉外部・SRL共催）

日時：4月4日（土）15:00～17:00

場所：大阪府病院年金会館 コンベンション  
ルーム

内容：季節に関係なく流行する新型インフルエンザ

講師：飯田 慶治 先生（SRL感染免疫部）

#### 2. 近畿技師会予算委員会

日時：4月4日（土）13:00～15:00

場所：大阪府技師会事務所

#### 3. 近畿各府県会長会議

日時：4月4日（土）18:00～20:00

場所：大阪府技師会事務所

議題：近畿医学検査学会のありかた

日臨技支部化の進捗状況

その他

### （予定）

#### 1. 近畿臨床検査技師会会長会議

日時：6月10日（水）13:00～15:00

場所：大阪府事務所

内容：京都学会予算書

平成20年度学術活動決算報告

その他

#### 2. 近畿臨床検査技師会理事会

日時：6月10日（水）15:00～17:00

場所：大阪府事務所

内容：平成20年度事業報告、決算報告

平成21年事業計画、予算書（案）

平成21年度会議などのスケジュール

その他

### 「滋賀県」

#### 1. 平成21年度保健医療従事者研修会打ち合わせ会議

日時：4月15日（水）15:30～17:00

場所：大津保健所 2階 大会議室

内容：平成20年度保健医療従事者研修会の実績報告について

平成21年度保健医療従事者研修会の実施計画について

出席：入野副会長

#### 2. 創立55周年・法人化25周年記念式典準備委員会

日時：4月15日（水）18:00～19:00

場所：技師会 会議室

内容：滋賀医学検査学会および記念式典の開催について

次回の実行委員会までに必要備品、経費を算出する。

#### 3. 学術雑誌発刊準備委員会

日時：4月15日（水）19:00～20:00

場所：技師会 会議室

内容：学術雑誌における編集委員の選定、論文の投稿規定の検討。

#### 4. 精度管理委員会

日時：4月24日（金）18:30～

場所：草津市立まちづくりセンター

内容：平成21年度事業について

#### 5. 平成21年度第一回学術部門分野長会議

日時：4月24日（金）

場所：草津市立まちづくりセンター

内容：平成20年度の事業報告および会計処理について

平成21年度の事業計画および予算について

生涯教育研修制度の申請方法について

プロモーションコードについて

#### 6. 関係団体への挨拶について

日時：4月28日（火）13:00～16:30

滋賀県庁、滋賀県医師会、滋賀県病院協会、滋賀県健康づくり財団へ瀬田会長、吉田副会長、入野副会長が新年度の挨拶に伺う。

#### 7. 第1回常務理事会の開催

日時：4月28日（火）16:30～19:00

場所：技師会会議室

内容：決算書類などの確認

#### 8. 監査報告

日時：5月7日（木）15:30～17:00

場所：技師会会議室

内容：阪口博司監事、立脇憲一監事より監査を受け、監査報告をいただく。

## 3) 協議事項

#### 1. 平成21年度第1回定期総会（決算）について

日時：5月30日（土）

場所：草津まちづくりセンター

#### 2. 日臨技公益目的事業への参画について

①9月・10月 がん制圧月間、乳がん撲滅月間

②12月 世界エイズデー

③2月 生活習慣病予防

委託金は各事業30万円

各事業に参画できる部は企画書を提出する。

#### 3. データ共有化事業の進捗について

滋賀県精度管理事業とコラボレーションしていく。

- 4. 滋賀県がん協会への部会委員の推薦について  
当会より入野保副会長を推薦する。
- 5. その他  
監事の選出について  
立脇憲一氏を21・22年度監事に再任する。  
会計補佐を山本理事が担当する。

**4) 各部の連絡**

組織部： 会員動向の報告  
 生涯部： 吉田忠夫 生涯教育研修部長の定年退職に伴い、滋臨技事務局が生涯部の事務局も代行する。  
 生涯教育研修委員会委員長に大津市民病院の松林裕和氏、新委員に社会保健滋賀

病院 吉田章子氏を承認する。  
 広報部： 滋臨技だより第238号を5月末から6月初めに発行予定。  
 厚生部： 6月28日（日）臨床検査技師会と放射線技師会のジョイント企画の案内を発送完了。  
 総務部： 理事連絡網の確認。  
 各部の業務分担をホームページへ掲載する。  
 決算総会議案書は5月18日（月）に会員に発送予定。

議事録署名人 吉田 孝  
 山本 昌弘

## 平成21年6月定例理事会議事録

日時：平成21年6月4日（木）17:00～19:00  
 場所：技師会 会議室  
 出席者：瀬田、吉田孝、入野、内木、岡本、横山  
 大本、吉田忠夫、新川、松村、一岡、岩井  
 欠席者：竹島、山本、速水、桐畑  
 （監事：阪口、立脇）  
 司会：内木 理事

**1) 会長挨拶**

**2) 報告事項**

- 「日臨技」なし
- 「近臨技」なし
- （予定）
- 1. 近畿技師会会長会議（近畿技師会理事会は新型インフルエンザ発生に伴い中止）  
 日時：6月10日（水）15:30  
 場所：大阪府技師会事務所  
 瀬田会長出席
- 2. 研修員選考会（JICA受託アフリカ語圏臨床検査技術コース）  
 日時：6月17日（水）16:00  
 場所：J I C A大阪  
 瀬田会長出席

「滋賀県」

- 1. 平成21年度第1回定期総会  
 日時：5月30日（日）14:00～15:00  
 場所：草津市立まちづくりセンター  
 平成20年度事業報告、決算報告  
 構成会員数：513名  
 出席者数：31名  
 委任状数：380名 合計 411  
 質疑無し
- 2. 「学術ジャーナル」の名称公募  
 滋臨技だより、ホームページに掲載する

**3) 協議事項**

- 1. 公益法人会計について  
 今後の会計業務について協議する。  
 新会計ソフトのプレゼンテーションを予定。

- 2. 厚生部事業について（放射線技師会との共同企画）  
 日時：6月28日（日）9:00 集合  
 申し込み締め切り：6月5日（金）  
 場所：オーパル  
 内容：カヌー体験など
- 3. 滋賀県医学検査学会について  
 日時：平成22年2月28日（日）  
 場所：長浜ロイヤルホテル
- 4. 創立55周年・法人化25周年記念式典について
- 5. データ共有化事業の進捗状況について
- 6. 日臨技公益目的事業の参画について  
 ①9月、10月 がんに関する企画  
 ②12月 HIV  
 ③2月 生活習慣病  
 HIVに関しての事業を12月に行う予定。
- 7. 各市町村の健康祭りの企画について協議を行う。  
 参加することを前提として情報を収集する。
- 8. 平成21年度第1回保健医療従事者研修会について  
 日時：平成21年8月22日（土）  
 13時～16時30分  
 場所：滋賀県立武道館  
 当会の共催事業であり、会員に参加を呼びかける。
- 9. 各部業務の確認を行う。
- 10. その他  
 新人研修を7月に実施する。

**4) 各部の連絡**

組織部： 会員へ名簿作成協力を願いを発送。  
 生涯部： 日本臨床衛生検査技師会2008年度一般教育研修課程修了証書を滋賀県技師会員33名に発送。  
 広報部： 滋臨技だより238号会誌発行

議事録署名人 入野 保  
 吉田 孝

# 会 員 動 向

## 会員の動向

(平成21年6月4日現在)

総会員数 517名

### 新入会員

会員番号	氏名	所属
254614	山本 まどか	恩賜財団 済生会滋賀県病院
254615	青木 唯弥	恩賜財団 済生会滋賀県病院

### 勤務先の変更

会員番号	氏名	所属
254196	浜口 みち子	公立甲賀病院
276363	小林 茂昭	独立行政法人 国立病院機構滋賀病院
250302	川原 晶	大津市保健所 衛生課試験検査室
254575	澤 綾子	大津市保健所 衛生課試験検査室

### 自宅会員

会員番号	氏名
250055	吉田 忠夫
254547	横山 愛

### 退会

会員番号	氏名
254546	今井 友香

## 会員の動向

(平成21年7月2日現在)

総会員数 519名

### 氏名変更

会員番号	変更後	変更前
276769	森田 英美	嶋作 英美

### 自宅会員

会員番号	氏名
250062	橋本 道夫
284079	白井 美樹
250078	拝藤 あい子

## 施設代表者の変更

施設番号	9250042
施設名	公立高島総合病院
連絡責任者	岸 芳樹



## 訂正とお詫び

滋臨床技だより（第238号）の中に誤りがありました。訂正させていただくとともにお詫び申し上げます。

訂正内容：5ページ 平成21年度精度管理委員

誤：血清部会代表 木村一成 → 正：血清部会代表 村木一成

# 臨床検査技師会&放射線技師会ジョイント企画



## 臨床検査技師会 & 放射線技師会、ジョイント企画に参加して

長浜赤十字病院 検査部 瀬田 正憲

ふと、目覚めるといつもの部屋の違いとそして杉の木立の合間に朝靄のたちこめる景色が目に入ってきた。「あっ今の時間は」と携帯を取り出す。時刻は5時10分、昨夜は、山岳会の例会で霊仙山の麓にある山小屋に泊まったことを思い出した。急いで支度をするため帰路につく。少し早いかなと思いつつ、7時10分過ぎ、うす曇りのなか同乗者を迎えにいき、雄琴オーパルに向かって出発した。

朝が早い所為か、快調に琵琶湖大橋をわたり目的地（オーパル）には8時20分すぎに到着した。9時より受付。放射線技師会と参加費が若干違うらしい。「検査技師会は裕福ですな」と小川放射線技師会会長から一言云われた。「ウム-

結構アウトドアが好きで色んなことに挑戦をしているがカヌーは初体験で、カヤックとか一遍やってみたかった。まずは指導員のかたからカヌーの動かし方、落ちたときの対処の仕方を教えて頂く。平均で40人に一人くらいは水中体験をされるとのことで、丁度今日の参加者は40人。会長が落ちたら絵になるとのことで自然に皆さんの鋭いまた期待に満ちた視線を浴びる。因みに小川会長は経験者で今日が3回目、大丈夫ですよ、簡単ですよと軽く云われる。残りは私だけか 足をがに股に目一杯広げバランスをとりながらまずは指導員の後に続いて葦のなかに漕ぎ出す。パドルの使い方はぎごちないが、まずは順調な滑り出し。上体をなるべく水平に保ちながら前進やバックそして左右にとふらふらしながらも水辺から段々と遠ざかって行く。湖面はざわめく程度で、少しづつ恐れも薄れ、沖に向かって漕ぎ出す。風の向きなどを考えながら、結構自分の思いで進むことが出来るカヌーは確かに面白い。湖上ではゲームなどがありなかなか遊び心を混ぜてのカヌー体験に盛りそうな予感を感じながら予定の時刻が迫り砂浜に戻った。やや筋肉痛ぎみの足でカヌーを片付け、これから昼食の時間。

食事のあいだは放射線技師会の方の軽妙な進行のもとビンゴゲームなどがあり楽しいひと時を過ごすことができた。しかし、食後のコーヒーが欲しかったなあ。

昼からは、びわこ真珠を使ってのストラップ製作。イケチョウ貝を養殖してびわこ真珠をしておられる方の説明を聞く。海水ではアコヤ貝、淡水ではイケチョウ貝などを使うことを聞き、また、真珠が出てくるのを間近に見て、御木本幸吉さんの功績を思った。この頃とみに、最初に考えられた方の発想などにすごく敬意を持ってきている。ビンゴゲームもしかり、真珠など他のことも含め、とても自分では思いつかないだろうと思う。可愛らしい小さな丸い真珠をつかって、細いテグスを真珠の穴やビーズのなかに入れる作業は、老年にかかっているものには難しいことで、それも二重にいれてくださいとのことで冷汗をかきながら他の人より時間がかかってしまった。こんなところでも老いの訪れを感じてしまう。やっとの思いで真珠のリングとストラップができたが、あまり見栄えは良くない。しかし世界にひとつしかないものだとな納得すると、そんなに悪くないかと愛着が出てくるのは不思議なもので、気持ちの持ちようが変わる一例かもしれない。

本当に貴重な体験をさせて頂きました。企画の段階で場所の確保、放射線技師会との調整などに尽力頂いた当会の松村理事をはじめ関係者の方々に厚くお礼を申し上げますとともに、今後このような企画が継続して実施されることを期待しています。そして県内の医療関連団体が共同の歩みを始めることで少しでもお互いが理解できる礎になると思いつつ、軽やかな気持ちで帰途についた。

有意義な一日に感謝！！ 感謝！！

## ～放射線技師会との合同事業を開催して～

厚生部 松村正樹



梅雨真っ只中、しかも6月28日と言えどもなく雨の確率が高い「雨の特異日」。

覚悟はしていたのに、蓋を開けて見れば太陽がカンカンに照りつける夏日。オジサンには少々キツイ1日となりました。

今回は放射線技師会との合同企画ということもあり、雨だからといって簡単には中止も出来ません。だったら、最初から濡れる事すれば？と、カヌーに決定。そしてせっかく滋賀に住み、琵琶湖と共に生活しているのだから、もっと琵琶湖を愛そうぜっ！と琵琶湖真珠のお勉強&工芸品作りに挑戦。まあ、ホントはカヌーを1日するほどの体力を持ち合わせていなかっただけなんです。

会場は大津市坂本にある体験学習施設“オーパル”さん。両技師会の会長挨拶に始まり早速カヌー講習へ。オール？（もう名前忘れてる）を数回漕ぐ練習しただけで、体から悲鳴が。明らかにマズイ。

ただ、湖上に出てみてびっくり、以外と簡単。最初は思う様に進まず、同じ所をクルクル回っていたオジサン達も少しすれば普通に湖面を滑走し、ナイスクルージング。はっきり言って、めちゃくちゃ気持ちヨカです。

昼食時にはビンゴゲームなど大いに盛り上がり、昼からは琵琶湖真珠の作り方を堅田の“田村真珠”さんにお越し頂き勉強。驚いたのが、誰も寝ていない。そして真珠を使った指輪と携帯ストラップ作りに挑戦！オジサン達、誰にプレゼントするつもりなのか真剣そのもの。ふ～ん、寝ないわけだ。ただ、真剣すぎて先生の話聞かない。困ったものです。

とにかく、最初から最後まで楽しく、事故もなく過ごせてホッとしました。

この度の放射線技師会様のご尽力に感謝致しますと共に、ご参加いただいた皆様、まことにありがとうございました。

そして会員の皆様、次回は清流でのバーベキューを予定しております。たくさんのご参加をお待ちしております。

### 合同企画に参加して

市立長浜病院 放射線技術科 田邊 啓太

日頃、同じ病院内で仕事をしていても、なかなか交流する機会のない他職種の方々のみならず、他施設の他職種の方々と、長浜市から遠く離れた場所、しかも琵琶湖の上で交流することができました。他職種と言いながらも、同じ医療技術職系ということもあってか、違和感無く、いつもの滋賀県放射線技師会の事業と何ら変わらない様子でした。

カヌー体験では、最初は気を抜くと転覆しそうでしたが、しばらくすると慣れてきました。スピードを出すと水の上を滑っているようで、公園の手漕ぎボートとは全く違う感覚でした。「次回は川下りなんかもしてみたい」と勝手なことを考えています。

昼食後（昼食についてはビンゴゲームで何も当たらなかったので省略します）、淡水真珠を使ったアクセサリ作りに40前の男が挑戦しました。「そう言えば、このあいだ子供から、ビーズの手作りストラップを貰ったな～」と思いだしながら、いつの間にか真剣に取り組んでいました。そして、出来栄にとっても満足しながら帰途につきました。

今回は、カヌーやアクセサリ作りなど普段経験することがない企画で、しかも新鮮な顔ぶれだったせいか、非常に楽しく参加させていただきました。これからも2団体の友好関係がさらに発展していくことを期待しながら、次回はぜひ子供と一緒に参加したいと考えています。



# 学術論文の募集をスタートします

前号で予告しましたとおり、この度正式に論文の募集を開始することになりました。

会員の皆さまが滋賀県医学検査学会をはじめ各学会・研究会で発表した成果をまとめる絶好の場になると確信していますので、多くの投稿をお待ちしています。もちろん初めて論文にトライされる方も大歓迎です。(原稿を査読します)

投稿規程や方法などの詳細は同封の書類をご覧ください。

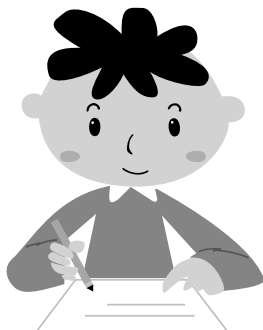
なお、今年度の論文編集委員が下記のとおり決定いたしましたのでお知らせします。

## 論文編集委員 (敬称略)

	氏 名	所 属	担 当 分 野
委員長	片 岡 秀 夫	彦根市立病院	病理・細胞
委 員	吉 田 孝	滋賀医科大学医学部附属病院	血液
委 員	大 槻 隆 明	滋賀医科大学医学部附属病院	臨床化学・免疫・チーム医療
委 員	藤 澤 義 久	滋賀医科大学医学部附属病院	生理機能
委 員	西 尾 久 明	滋賀県立成人病センター	微生物・一般
委 員	湯 本 浩 史	滋賀医科大学医学部附属病院	輸血・移植

本誌の名称はまだ決まっていません。名付け親あるいは参考にさせていただいた方には技師会より薄謝を差し上げますので、引き続きご応募をお待ちしています。

ご意見、ご質問、ご応募は下記までお願いします。



編集委員会事務局 内木 喜美江  
 (勤務先) 近江八幡市立総合医療センター 中央検査科  
 〒523-0082 近江八幡市土田町1379  
 TEL:0748-33-3151 FAX: 0748-33-4877  
 e-mail: kimie-n@maia.eonet.ne.jp

## 施設紹介

## 大津赤十字病院

検査部 岸本茂己

## はじめに

先日、(社)滋賀県臨床検査技師会の広報担当の理事さんから、「“滋臨技だより”に施設紹介のコーナーを設けますので一筆お願いします。」との依頼がありました。「原稿や構成に制約はありませんので自由に作成して下さい。」とのことでしたが「何を紹介しようか」と苦慮しました。当院検査部は他施設と大きな違いのある業務をしているわけではございませんので、当院の“歴史”“理念”“検査部組織と業務”を少し紹介させていただきます。



検体検査

## 病院と検査部の歴史

当院の歴史は古く、1876(明治9)年に前身である「滋賀県立仮駆黴院」が大津湊町(現・大津市中央一丁目)に設けられたのが大津赤十字病院のはじまりであります。

その後、1886(明治19)年に滋賀郡松本村(現・大津市松本一丁目)へ新築移転し「滋賀県立大津病院」と改称しました。1904(明治37)年に日本赤十字社に移管され「日本赤十字社滋賀支部病院」として発足しました。赤十字病院として、本年2009(平成21)年で105年の歴史があり、前身の施設から数えて133年の歴史を刻んできたこととなります。

病院記念誌に“1936(昭和5)年に研究棟と検査室を検査の充実と医療技術向上を図るため新築された。”と記載されていますので、これが当院の臨床検査のはじまりであると思います。

その後、1954(昭和29)年に病院の中庭に検査室と血液銀行のために検査棟を新築し、「中央検査部」が設置されました。その頃の血液供給は、終戦の混乱が続いていた時であり売血による悪質な血液が供給されていた時代でもありました。「中央検査部」が設置された当時は細菌学検査、血清学検査、寄生虫検査のみで、血液検査は主治医が実施していた時代でありました。

また、設置当時の検査部長が「中央検査部」の近代化推進に大いに理解を示されて検査用の機器が順次に導入されて行った模様ではありますが、まだまだ用手検査の時代でありました。

1975(昭和50)年、滋賀医科大学教育関連病院の指定を受け臨床検査設備の充実強化を図るため自動化への取り組みがはじまりました。生化学自動分析機「日立400型」「日立500型」、臨床検査システムコンピュータ「HITAC-10II」、自動血球計数機「コールカウンターS型」、RI分析機等が導入され近代化は一気に推進された時代であります。その後は機器の更新や新規導入が順次進められて来て今日に至っております。その中でも2000(平成12)年に、いわゆる2000年問題に対処出来ない機器やシステムを更新して“新しい検査システム”が構築されました。

その後、2004(平成16)年にオーダーリングを導入し、2006(平成18)年に電子カルテを導入しました。

## 病院の理念と基本方針

☆理念 私たちは「人道・博愛」の赤十字精神にのっとり、患者さまの人権と意志を尊重して、最善の医療を提供し、地域の人々の健康増進に務めます。

- ☆基本方針
1. 患者さまと共にあゆむ医療を心がけ、プライバシーと権利を大切にします。
  2. 医療の質の向上に努め、安全で高度な医療を提供します。
  3. 救急医療に積極的に取り組み、災害医療に貢献します。
  4. 地域の中核病院として他の医療機関との連携を推進します。
  5. 研修・研鑽を積み、次代を担う医療従事者の育成に努めます。

## 検査部の理念と基本方針

☆理念 私たちは「病院理念」にのっとり、迅速・正確で信頼性の高いデータを臨床に提供し、臨床のニーズに適した情報を提供します。

- ☆基本方針
1. 知識と技術の向上に努力し、業務の改善に努めます。
  2. 臨床検査の標準化や検査データ共有化に寄与します。
  3. 臨床検査を通じて救急医療と災害救護に貢献します。

## 検査部の組織と業務

検査部は3課と8系の組織構成であり、理念と基本方針にのっとり業務を遂行しております。

第一臨床検査課（臨床検査技師16名）の免疫化学検査係・血液止血検査係・輸血検査係・一般検査係・外来検査係においては、検査システム機器、自動分析機等の効率運用と電子カルテの連動により診察前検査、迅速検査に取り組んでいます。また、NST等のチーム医療にも参画し成果を上げています。外来処置室の採血業務にも取り組んでいます。昨年には、全自動血液計数機3台、自動凝固検査機2台、自動免疫検査機1台の更新整備をいたしました。



外来採血受付



検体検査



外来検査

第二臨床検査課（臨床検査技師5名）の細菌検査係では、細菌検査と院内感染対策等に取り組み院内感染対策委員会への資料作成や感染情報等のデータ提供とICTラウンド活動に取り組んでいます。また血液培養の依頼が増加しており血液培養器を今年度に更新いたしました。

細胞検査では、細胞判定の日母分類によるクラス分類から標本の適否やHPVのエビデンスを取り入れた“ベセスダシステム”に基づく子宮頸部細胞診報告様式に変更し、平成21年4月より両者併記方式にて導入しています。

第三臨床検査課（臨床検査技師8名）には第一生理検査係と第二生理検査係があり、超音波検査の画像検査と、心電図・呼吸機能・脳波・尿素呼気・ABI等の検査に取り組んでいます。

また、健診センター（ドック）への臨床検査技師の出向で受診者へのサービスにも取り組んでいます。さらに、平成20年4月より耳鼻科検査の検査部内への取り込みに努力し、検査部の業務として拡充し成果を上げています。



超音波検査

救命救急検査は、昭和47年から当直（日宿直 各1名）体制を組み、24時間体制で検査業務を遂行しておりますが、現在は業務量の増加、検査依頼項目の変化等の問題があり、今後の当直体制の変更を含め24時間運用の方法を模索いたしております。



緊急検査

## おわりに

最近、DPC等医療の包括化が進められている中で、臨床検査部門が医療の隅に追いやられようとしている感じがいたします。我々臨床検査技師が保健・医療において救急医療・チーム医療等で活躍し、業務の拡充を図り、人材育成に努め、さらなる底力を発揮する時代に来ていると思います。

## 研修会のお知らせ

### 第14回 近畿輸血検査研修会

テーマ：赤十字血液センターの検査を知ろう

会期・プログラム：

平成21年10月3日（土）

12：00～ 受付

13：00～ 中級輸血検査実技講習会

1. 血液型検査

2. 不規則抗体検査

3. 直接抗グロブリン試験陽性検体の精査

19：00～ 夕食（懇親会）

22：00～ ナイトセミナー（自由参加）

平成21年10月4日（日）

8：30～ 受付

9：00～ 講演：自己抗体保有患者への輸血

講師：関西医科大学滝井病院 大西修司 先生

9：40～ シンポジウム：赤十字血液センターの検査を知ろう

講演1：赤血球・抗体検査

大阪府赤十字血液センター 玄 景明 先生

講演2：白血球・血小板検査

大阪府赤十字血液センター 松山宣樹 先生

講演3：副作用・感染症調査時の検査(症例紹介を含めて)

兵庫県赤十字血液センター 坊池義浩 先生

会場：中級実技講習会 大阪市立大学医学部 5階 生化学実習室

講演会 コスモスクエア国際交流センター 大会議室

懇親会・宿泊 コスモスクエア国際交流センター

募集人数：中級実技講習会 63名

講演会 150名

受講料：2日間参加 25,000円（実習費、講演会費、宿泊費、懇親会費含む）

2日間参加 14,000円（実習費、講演会費）（宿泊なし、懇親会なし）

2日間参加 15,000円（懇親会、宿泊費、講演会費）（実技講習会なし）

1日目中級実技講習会のみ参加 10,000円

2日目講演会のみ参加 4,000円

申込方法：電子メールでの申し込みとなります。

「件名」を「近畿輸血検査研修会」とし

①参加形態(2日間参加宿泊あり、2日間参加宿泊なし、2日間参加実技なし、1日目実技のみ参加) ②施設名 ③氏名 ④会員番号 ⑤所属技師会 ⑥連絡先電話番号 ⑦メールアドレスとし下記のメールアドレスまで申し込みください。

※但し2日目の講演会のみ参加の方は事前申し込みは必要ありません。

申込み先：kinki-yuketsu@mail.goo.ne.jp

06-6372-0675(大阪府済生会中津病院 深田恵利奈)

申込み受付期間：平成21年8月15日～8月31日

但し、定員になり次第募集を締め切らせて頂きます。

生涯教育点数：臨床専門 2日間参加30点 1日参加20点

主催：近畿臨床検査技師会

担当：大阪府臨床検査技師会 輸血検査部門

## 研修会のお知らせ

### 臨床化学検査分野研修会

日 時：平成21年8月8日（土） 14:00～16:30

場 所：草津市立まちづくりセンター 3階 309会議室

内 容：講演（I）『糖尿病検査の最近の話題』

講師 近藤 大 氏

協和メディックス（株） 学術部

講演（II）『自動分析器での異常反応データの見方・処理法について』

講師 小島 和茂 氏

日本電子（株） 医用機器事業部 応用研究グループ

参加費：会員 無料 非会員 2,000円

問い合わせ先：公立甲賀病院 中央検査室

奥井 幸三 Tel 0748-62-0234（内線582）

### 一般検査分野・臨床化学検査分野合同研修会

日 時：平成21年9月12日（土） 14:00～16:00

場 所：ライズヴェル都賀山（JR琵琶湖線 守山駅下車、東口より徒歩2分）

内 容：腎疾患の考え方とこれからの腎機能検査

－慢性腎臓病CKD・急性腎臓病AKIと血液・尿化学検査－

講 師：油野 友二 先生

金沢赤十字病院 検査部

参加費：会員 無料 非会員 2,000円

問い合わせ先：大津市役所健康管理課

寺畑 由一 電話 077-528-2748

公立甲賀病院 中央検査室

奥井 幸三 電話 0748-62-0234（内線582）



09.6.28 カヌー体験より

### 第239号滋臨技だより

2009年8月1日

発行所 滋賀県臨床検査技師会

編集者 吉 田 孝

岩 井 宗 男

新 川 由 基

印刷所 平田印刷